

## IoT社会の実現に4G/5Gの通信技術で貢献



ERICSSON

エリクソン・ジャパン株式会社  
カントリー・オペレーションズ・ジャパン  
統括本部長

林 雅音氏

### 世界180カ国、1,000以上の ネットワークをサポート

弊社は、移動及び固定通信事業者に対し、インフラ関連ソリューション（ソフトウェア、ハードウェア、サービス）を提供する世界有数のベンダーの日本支社として1992年に設立されました。以来、グローバルで培った実績とノウハウを元に、日本の通信事業者さまの高い品質へのご期待に沿ったソリューションを提供しています。本社はスウェーデンにあり、世界180カ国、1,000以上のネットワークをサポート。世界中のモバイルトラフィックの40%以上が、弊社の納入したソリューションを利用しています。弊社はこのように通信インフラに関するあらゆる技術的課題にエンドツーエンド・ソリューションを提供できる数少ない企業であると自負しています。現在は、5G（第5世代移動通信システム）に関する開発、実証実験を始め、様々な分野に利用の広がりを見せているIoT、通信インフラのクラウド化に注力し、事業を展開しています。

### 仙台の人材は仕事に対する モチベーションが高いのも魅力

仙台はリモートサービスの拠点として、全国の通信事業者に対するソフトウェアサービスの提供を主な業務にしています。現在、地元採用の約100名のスタッフが勤務しています。現スタッフは全て既卒採用ですが、2018年4月には新卒スタッフも入社します。今後も継続的に、既卒・新卒ともに採用していきます。

仙台に進出した大きな理由は、長期雇用に基づいた社員の技術力の向上、経験値の蓄積に基づいた高品質なサービスの提供です。事業拡大には、高品質なサービス提供が前提となりますが、首都圏では人材が流動化する傾向があり、長期的な雇用をより推進するために地方都市への進出を考えました。複数の都市を比較するなかで仙台を選ぶ決め手となったのは3つの理由からです。1つ目が人材面。100



万人規模の街に多数のIT関連の教育機関があり、教育水準が高いことが魅力でした。2つ目が東京への近さ。リモートサービスが主業務ですので、通常は当地での業務となりますが、いざというときに首都圏のお客さまのもとへ東北新幹線を利用すれば90分で行けるという優れたアクセス面。3つ目が行政のサポート面です。複数の都市の方とお話する機会を得ましたが、一番熱心だったのが仙台市でした。オフィス選定はもちろん、人材雇用、各大学や地元企業との交流のきっかけづくりなど様々なサポートを得ています。人材に関しては予想以上に素晴らしいスタッフが揃いました。通信業界以外の業種からもスタッフを採用していますが、経験のなさを補うだけのモチベーションを有していることはもちろん、学習意欲も旺盛で、お客さまからの評価も高いです。さらなる事業拡大と共に、今後は英語力のあるスタッフの必要性が高まってきます。スキルアップの意味でも、仙台で英語力のあるスタッフを集めたいと考えています。

### 被災地から減災につながる 新事業を興していきたい

予想していた以上にモチベーションが高い人材が多いので、今後は当初計画していた通信インフラサービスオペレーションより事業を拡大し、新しいことにチャレンジしたいと考えています。柱となるのが通信事業者向けクラウド化です。従来のインフラでは、ある特定の条件下で携帯電話の接続要求が一気に増加した場合、物理的な制約を受け、つながりにくい状況が発生してしまいます。弊社ではそのような事象を技術的に解決する取組みを行っています。減災にもつながりますし、東日本大震災の被災地である仙台のスタッフが開発することに意義があると考えています。

大学、地元企業、弊社の間には仙台市が入ってくれるので、産学官連携もバランスが取れていますし、新たなネットワークづくりが大変スムーズに行えています。弊社が手掛けている通信インフラ事業は、最先端技術ゆえに苦勞することも多いのですが、スタッフたちは我慢強く仕事に当たってくれますし、社内外のコミュニケーションにも活発に行動してくれる人が多いことも魅力に感じています。

(2017年12月12日取材)

[お問合せ]

仙台市経済局企業立地課  
仙台市総務局東京事務所  
仙台市企業進出ガイド

TEL 022-214-8245 / E-mail kei008040\_13@city.sendai.jp  
TEL 03-3263-5765 / E-mail som001310@city.sendai.jp  
<http://www.city.sendai.jp/invest/>